

## 臨床研究「持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション後の再発予測因子の調査」について

筑波大学附属病院循環器内科科では、標題の臨床研究を実施しております。本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究対象

2007年1月1日から2013年12月31日までに当院で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を受けた患者

### ② 研究の意義・目的・方法

心房細動は、脳卒中や心不全など致死的な心血管イベントの主要な危険因子として知られています。カテーテルアブレーションは薬物治療抵抗性の心房細動患者さんに対する有効な治療法です。しかしながら、心房細動の持続期間の長い、持続性心房細動の患者さんに対しては、カテーテルアブレーションによる長期の洞調律維持率はまだ十分であるとは言えず、カテーテルアブレーションにより、洞調律化や心機能改善が得られない患者さんもいらっしゃいます。そのため、どのような持続性心房細動の患者さんに対し、カテーテルアブレーションを積極的に行うべきかという適応基準も未だ十分に確立しておりません。この研究では、これまで当院でカテーテルアブレーション治療を受けられた全ての心房細動患者さんの術後の心房細動再発状況等を後ろ向きに調査し、発作性及び持続性心房細動の患者さんのデータを比較することから、発作性心房細動の患者さんと同様に治療効果が高いと考えられる持続性心房細動の患者さんを術前に予測する指標を確立することを目的としています。

### ③ 研究機関名・研究者名

筑波大学附属病院 循環器内科（青沼和隆，野上昭彦，瀬尾由広，関口幸夫，五十嵐都，町野毅，黒木健志，町野智子）

④ 保有する個人情報に関する利用目的

この研究は、筑波大学附属病院において心房細動カテーテルアブレーションを施行される患者さんを対象に、診療記録を用いて治療効果や経過を調査するものです。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

あなたのデータが本研究に用いられているかどうかを知りたい場合や、用いられている場合において、あなたがデータ使用の取り止めを希望される場合には、いつでも下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、あなたのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。また、最終解析終了後にすべてのデータは廃棄されます。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 循環器内科（教授 青沼和隆，野上昭彦，准教授 瀬尾由広，関口幸夫，講師 五十嵐都，助教 町野毅，病院講師 黒木健志，クリニカルアシスタント 町野智子）

電話・FAX：029-853-3143（循環器内科医局，平日9時～17時），029-853-3525（筑波大学附属病院防災センター，上記以外の時間帯，担当医師または循環器内科医師を呼び出して下さい）